

令和5年5月後半分青果物使用品名と産地(5/15～5/31)

～生産(地)の状況～

野菜も雨不足等で生育が悪いと言っていたが、連休中の雨で生育も落ち着いてきたようだ。市場への入荷も少しずつ増えてくる予想であり期待感がある。季節的には平坦部(露地もの)が終わりを迎え、今後は高冷地へ移行していく時期。

No	品名	産地
1	じゃがいも	県内・鹿児島・長崎産
2	人参	県内産
3	キャベツ	九州産
4	玉ねぎ	県内産含む九州産(主に佐賀産)
5	もやし(小)	熊本市産
6	もやし(大)	大分産
7	ピーマン	熊本市産
8	パプリカ(赤・黄)	九州産
9	トマト	県内産
10	ミニトマト	県内産
11	胡瓜	熊本市産
12	ごぼう	青森産
13	青ネギ	熊本市産
14	ほうれん草	九州産
15	チンゲン菜	熊本市産

No	品名	産地
16	小松菜	熊本市産
17	にら	県内産
18	いんげん	九州産
19	レタス	九州産
20	白菜	九州産
21	大根	九州産
22	なす	熊本市産
23	にんにく	青森産
24	生姜	県内産
25	えのきだけ	長崎産
26	本しめじ	福岡産
27	エリンギ	長崎産
28	アスパラガス	県内産
29	バナナ	フィリピン
30	すいか	熊本市産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq/Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。

※玉ねぎについては、5月22日使用分より、県内産から県内産含む九州産(主に佐賀産)へと変わります。